

平成 23 年度第 2 回水と緑の森づくり会議（意見交換）次第

とき 平成 23 年 11 月 10 日（木）

場所 大田パストラル 「宝来」

●議題

- 1 第 1 回会議での委員提案等の措置状況（12:40～12:50）
- 2 4～10 月の水森事業概要について（12:50～13:00）
- 3 意見交換（13:00～13:20）

平成23年度第1回水と緑の森づくり会議における意見・要望への対応

林業課 水と緑の森づくりスタッフ

水森事業全般について	現 状 等	対 応
① 「みーも通信」の文字が小さい。	若年層・女性層をターゲットに作成したため、字を小さくデザイン的なものとなりました。その点を評価する意見もあり、内容(コンテンツ)をもっと多くしてほしいとの読者の要望もあります。	・字の大きさは、記事の字数や字体、レイアウト等も含めて委託会社と協議しながら見やすくしました。 ・返信はがきのアンケート項目に活字の大きさを問う問いを設けて読者の意向を調査中です。
② 「みーも通信」は環境に配慮した紙(間伐材利用など)を使っただろうか。	再生紙の使用や県産間伐材の利用は、コスト面からの検討も必要となります。環境に配慮した取組は必要です。	・環境に配慮した原材料として、植物性インク・森林認証紙を使用し、その旨を誌面に表示しました。 ・再生紙使用のコスト面の可能性について委託会社と協議しましたが、今年度予算では対応できませんでした。
③ みーも通信の置き場について、コンビニは20代、30代の女性は行かないので、再検討してはどうか。	現状では、需要年代は不明ながら、コンビニに配置した「みーも通信」の消化率は高くなっています。	コンビニへの配置は継続しますが、より効果的な配置場所・スポットを検討し、可能なものから実施します。
④ 「みーも通信」は書店で本を買ったときにレジと一緒に配布してもらおうと効果的ではないか。(「コペル」の例)	書店のレジでの無料冊子配布は、書店の営業活動との関連があり、調査・検討が必要です。	書店配布の実情を調査したところ、「コペル」は特定書店が出版し、当該店が配布しています。今後引き続き、より効果的な配布方法を検討します。

みーもの森づくり事業審査について	対 応
① 事業で整備された施設が荒廃しないように、もう一工夫、アイデアが必要である。	管理体制を明確にし、振興計画を作成するよう、事業者への決定通知に採択条件として記載しました。今後、事業の実施過程及び実績報告で確認します。
② 過去に整備した機材の有効利用のため、一覧・台帳等を整備し、貸し借りをやすくできないか。	本年度から事業実施要領で貸借促進の規定を新設したところです。
③ 過去の事業などで優良事例、参考になるケースがわかる方法があれば良いと思う。	優良事例を整理し、県のホームページに事例集の掲載を始めました。現在2件掲載中で、今後順次、増やしていきます。
④ 次世代を育てるという意味で、子供たちが植林して終わりではなく、長いスパンでものを見られるような仕掛けが大事である。	【今年度】事業執行にあたり小学生に全体像(将来ビジョン)がわかる進め方をするよう、事業者への決定通知に記載しました。その際、説明者として森林インストラクター等を活用することとし、森林インストラクター、森林組合職員、林業普及員などが講師として活動しています。 【次年度】提案書に「目的」に対応した「効果」を記載する欄を設けるなど、申請時に関連付けを説明できるようにします。

みーもの森づくり事業 進捗状況一覧

新規

事業主体 (団体名)	取組名称	活動概要	参加予 定人数	交付決定額	完了予定
1 森づくりは海づくりin浜田 実行委員会	森づくりは海づくりin浜田実行委員 会	○松枯れ跡地に林業関係者、漁業関係者、小学生など100名による植栽 活動	120	1,024,000	10月30日
2 NPO法人緑と水の連絡会 議	小学校・保育園に木製遊具等をプ レゼントしよう	○大田市内の若者、小学生生徒、保育園児、保護者が一緒となり間伐体 験、木材加工、遊具設置見学	196	556,000	3月10日
3 古志地区自治協会	子ども達と取り組む森づくり	○松枯れ跡地に小学生と抵抗性松600本、クリ10本の植栽活動・間伐体 験	100	744,275	3月19日
4 安田地区連合自治会	遠田海岸防風保安林整備事業	○松枯れによって荒廃した海岸林にトベラ250本、シャリンバイ200本、抵 抗性松100本の植栽	105	927,000	3月20日
5 浜遊の森の自然を守る会	砂防林植樹(松苗)	○砂防林復活のための抵抗性黒松1100本の植栽 ○荒木小学生、会員による植栽	80	805,000	2月29日
6 曾田文庫応援団	木の香りに満ちた図書館の運営	○古民家を利用した私設図書館の書架等の県産木造化 ○森や木に関する講演会の開催	2,696	815,000	11月30日
7 しまね・木育ネットワーク	「幼児期木育ーものづくり活動」の 推進	○県産材を使った木育教材「ロボキヤ」800個を活用した幼児期からの木 とのふれあい	1,120	826,980	1月30日
8 樹冠ネットワーク	温故知新の間伐材利用と森林体 験教室	○郷蔵修復に必要な足場設置を間伐材で委託 ○間伐材でPR看板を委託	80	1,251,000	12月1日
9 日貫活性化協議会	林内残材活用プロジェクト	○切り捨て間伐材によって発生した林地残材を活用して小学生とベンチ作 り	80	500,000	12月22日
10 浜山を守る会	黒松主体の浜山自然公園への再 生を目指す	○ニセアカシア枯損木除去委託 ○ボランティアで植栽	600	1,607,000	2月29日
11 (社)原田愛郷社	森づくりボランティア活動	○墓に覆われた林道の残土捨て場で、ボランティアによるサクラ、ミズナ ラ 600本植栽	45	589,000	11月30日
12 跡市連合自治会	跡市町代官所跡地周辺森林の景 観保全	○荒廃竹林の整備、地帯え、遊歩道の開設を委託 ○地域住民・小学生によるヤマザクラ200本植栽	60	769,000	12月22日
13 美都町金谷自治会	「名木:金谷の城山桜」周辺整備	○過疎高齢化によって荒廃していた天然記念物「金谷の城山桜」周辺遊 歩道整備	10	847,000	10月15日
14 (株)マサコーポレーション	(株)マサコーポレーション「希望の 森」づくり	○ボランティアによる星上山周辺の荒廃竹林の整備 ○ヤマザクラ、クリなど600本ボランティアによる植栽	160	551,000	3月27日
15 島根県森林土木技術協会	心の故郷いやしの森事業	○荒廃竹林の伐採・地帯え委託 ○ボランティアによる、ヤマザクラ、ナラ、クリの植栽	60	833,000	11月30日
16 山陰中央新報社	松山の再生と花仙山椿(かせんざ んつばき)が咲く森づくり活動Ⅱ	○荒廃松林の伐採・地帯え委託 ○ボランティアによる植栽	100	1,192,000	3月20日
17 島根県土地改良事業団体 連合会	森林資源の再生と、水辺の憩いの 森づくり活動	○「うしおの沢池」の水源地整備 ○作業路575m開設委託	100	1,167,000	3月19日
18 矢上コミュニティ委員会	矢上地区いこいの場づくり	○学校施設周辺の公園の荒廃森林整備して子ども達の森とのふれあ いの場へ	100	1,579,000	12月26日
19 吉栗ドリーム	花咲く里山アプローチの造成	○飯の原農村公園内林地伐採 ○会員によるツツジ植栽	39	1,250,550	3月31日
20 真砂地区連合自治会	蛇滝自然観察路、周辺整備	○益田で一番高い日晩山の蛇滝周辺の荒廃竹林等の整備 ○遊歩道の整備	20	1,624,000	9月30日
21 愛宕山公園を美しくする 会	平田愛宕山公園の景観復活事業	○愛宕山公園の荒廃竹林整備 ○桜200本、モミ150本	205	1,696,218	2月29日
22 直地自治会	県立自然公園「地倉沼」遊歩道整 備	○県のレッドデータブックで絶滅危惧種の「チュジソウ」の生息地である地 倉沼の荒廃森林整備と遊歩道整備	30	624,000	12月31日
23 下熊谷ふれあい会	森林資源を活用した「下熊谷癒し の森」づくり	○遊歩道整備、石段設置、除草整備 ○伐採などの森林整備も委託	200	1,698,000	3月20日
24 笹山自治会	笹山自治会内の環境整備事業	○「青野山」登山道周辺に間伐材でつくったベンチ、椅子の設置	30	607,000	9月30日
25 知夫里島観光協会	平成23年度知夫里島みーもの森 づくり事業	○灯台周辺の植栽 ○鬼太郎木製ベンチ設置	35	1,531,000	11月30日
26 加茂遊学ファーム	ふれあい施設生き生き広場施設整 備と交流事業	○木製ベンチ、作業台等設置 ○雑草食菌体験会の開催	58	932,000	3月31日
27 出雲市	見晴らしの丘公園景観回復事業	○公園内の松枯れあとに植樹活動 ○小学生、一般参加者による抵抗性松1500本の植栽	100	1,000,000	3月31日
28 津和野町	つわの木育「木と触れ、木を感じ、 思いやりと優しさを育む」プロジェク ト	○地元間伐材を木のおもちゃに加工し、乳幼児検診、育児相談で活用 ○山間部に住んでいても山への関心が薄れている。子どもとその親に地	400	500,000	3月15日
29 雲南市	さくらおろち湖(尾原ダム)の森林 景観を次世代へ届けるプロジェクト	○荒廃竹藪2.3haの伐採 ○植樹	20	500,000	2月28日
30 飯南町	都市と山村交流事業 (森林散策と育樹イベント)	○森林セラピー参加者と植樹活動 ○森林セラピー基地への木質バイオマス利用	100	797,000	3月31日
31 浜田市	地元産木材を活用した児童用机天 板導入による森林教育活動	○地元産材による市内全小学5年生の机の天板の張り替え委託 ○小学校での森林教育実施	500	998,000	3月15日
32 江津市	小学校学習机の地域産材化による 江津市林業の学習事業	○市内の間伐材を活用し小学校の机の天板張り替え委託 ○市内木材利用コストの検証	70	690,000	2月29日
合計			7,619	31,031,023	

継続

事業主体 (団体名)	取組名称	活動概要	参加予 定人数	交付決定額	完了予定
1 戸田自治会	戸田地区海岸林保全事業	○下刈り ○抵抗性松の植栽	120	41,000	3月30日
2 安田地区連合自治会	遠田海岸防風保安林整備事業	○H19、H22に抵抗性黒松植栽(0.8ha、2400本)の下刈り ○支柱	20	50,000	3月20日
3 小学生フットサル石見交 流選手権大会実行委員会	少年の心と緑を育むフットサル大 会	○H20年度にフットサル大会に集まる小学生とクヌギなどの植樹活動、木 工教室を開催	150	50,000	10月30日
4 おみず会	竹の有効利用で地域を活性化しよ う	○H21年度にボランティアによる荒廃竹林整備と炭窯作成 ○竹炭作り体験会の開催	60	38,000	12月30日
5 加茂遊学ファーム	遊学の丘八重桜園地育成事業	○H21年度に桜を植栽 ○その施肥、防虫処理費	43	50,000	3月31日
6 雲南市	尾原ダム湖畔～紅葉の森プロジェク ト	○H22年度に尾原ダム周辺0.2haにカエデ植栽。 ○その植栽地に2回下刈りを行う	3	50,000	9月30日
7 NPO法人緑と水の連絡会 議	ふろしき山プロジェクト(森林バイオ マスの地域循環システムの構築に 関する)	○H22年度に雪害林をボランティアで整備 ○林地に残った間伐材をバイオマス利用	15	50,000	11月31日
8 浜田地方利行研究グルー プ	海浜公園の松林再生	○アグアスの乗場者らと昨年整備した海岸林に松苗200本植栽と清掃	50	48,000	3月10日
9 本町・金田・島の星地区連 合自治会	江津本町地区の歴史的建造物を 活かした桜植栽事業	○H22に植栽した桜の下刈り作業	30	50,000	10月31日
合計			491	427,000	

## 森づくり推進事業・23年度実施状況 (H23. 11. 10現在)

### 1. 森づくり情報発信業務委託

#### ①情報誌（みーも通信）発行

夏号 (Vol25) 7月1日発行 (21,000部) 返信ハガキ48通  
秋号 (Vol26) 10月1日発行 (21,700部) 返信ハガキ18通 (11/9まで)

#### ②啓発ポスターの作成・配布

低年齢層向けのメッセージイラストポスターを作成し、県内の幼稚園、保育所、公立図書館（計471施設）に配布。（9月）

#### ③各イベントへのPR出展

10月22日 しまねエコフェスタ（大田市・サヒメル）

11月6日 ますだ産業祭（益田市）

【内容】広報パネル展示、みーも通信・シール・花の種の配布、みーもくん出演、木工体験（コースター作成）

※各イベントに島根県森林インストラクター2名が参加。

#### ④年間広報（タウン誌・ツイッター）

- ・タウン誌（3誌）にポスターの縮小版を掲載。
- ・みーもくんツイッターを週1回ペースで書き込み。

### 2. みーもスクール

【松江】母衣小学校（松江市）	82名
【雲南】西小学校（雲南市）	33名
【県央】五十猛小学校（大田市）	46名
大森小学校（大田市）	17名
【益田】左鑑小学校（津和野町）	14名
【隠岐】都万中学校（隠岐の島町）	38名

### 3. 県民アンケート調査（島根大学との共同研究事業）

- ・調査対象者 島根県内に住む20歳以上の無作為抽出2,000人
- ・調査内容 水と緑の森づくり事業について等
- ・調査期間 H23. 9/1～9/20 返送数650通（10月末現在）

### 4. しまね森林活動サポートセンター

9月1日開設（詳細別紙）

# しまね森づくりサポートセンター ～森林技術ボランティア活動サポート制度～

## 1. 目的

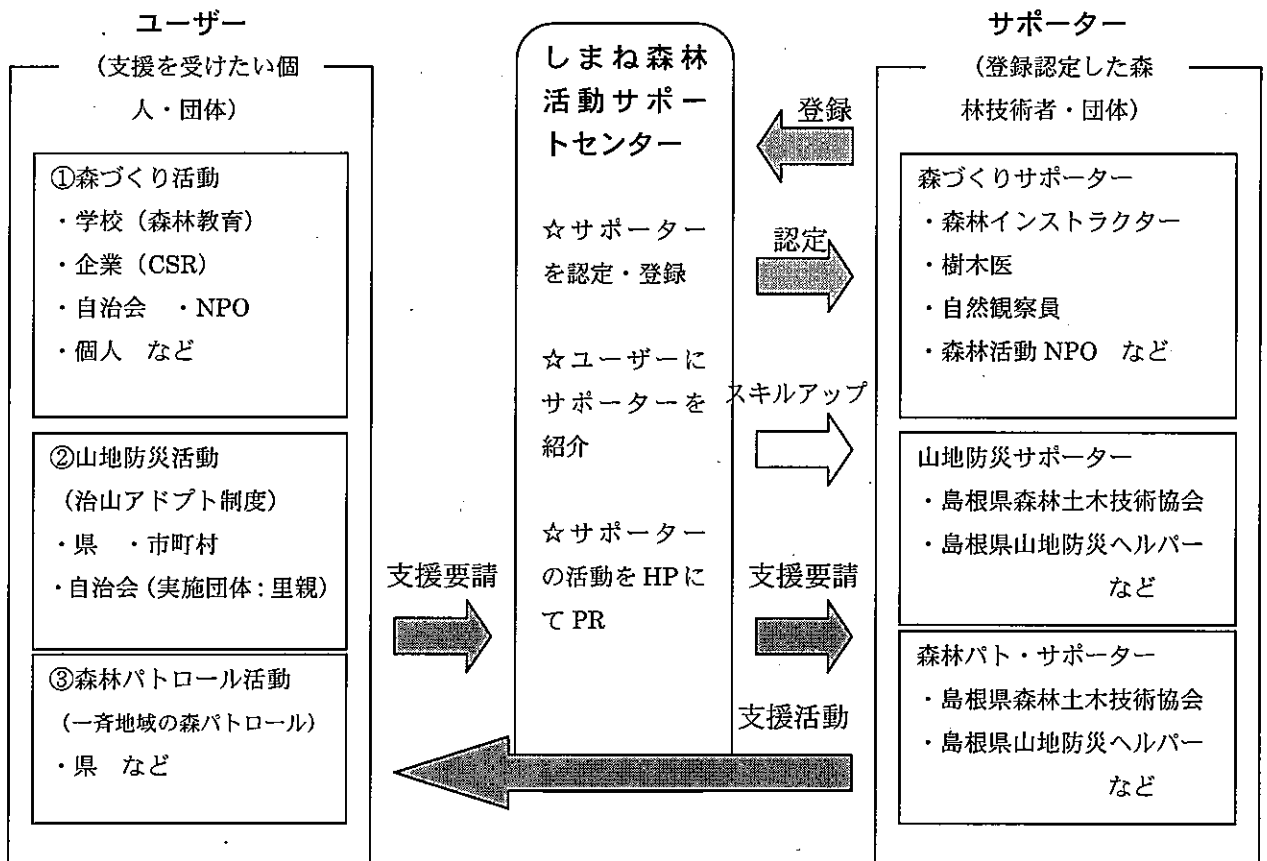
県民共有の財産である森林を、県民全体で支えていくために、行政と企業・団体・個人等の専門的な技術者が協働して、森づくりへの県民参加を促進する。

- 森づくり活動への参加を希望する県民に対し、その機会を提供  
(「森づくり活動には興味があるがその機会がない」49%：水森アンケート結果)
- 島根県森林インストラクター146名の積極的活用
- 森林専門技術会社の社会貢献活動 CSR の推進

## 2. 概要

サポートセンターの運営管理を外部委託し、森林技術ボランティア活動サポート制度の運用や、コンテンツの拡充、問い合わせに対するサービスの向上・利用者の拡大、サポーターのスキルアップなどを実施する。

- 森林ボランティア指導者、森づくり団体活動等の情報収集、ホームページ更新
- 支援を受けたい人（ユーザー）と技術者（サポーター）のマッチング・派遣
- サポーターのスキルアップ、サポートセンターのPR など

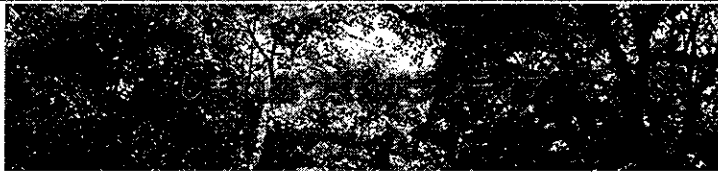


◇特徴

- 認定・登録制度：有資格者や経験者といったスキルの高い技術者（団体）を紹介
- 現役制度：登録されたサポーターは最低3年間で1回以上の活動を義務づけ
- 活動状況のPR：サポーターの活動状況を常にHPにて紹介、企業のCSRに対応
- マッチング：サポートセンターに職員を配置し、人を介しての“人と人（専門家）”  
“人とフィールド（森）”、“人とツール（道具）”のマッチング

◇ホームページ

しまね森林活動サポートセンター



サポートセンターTOP 森づくりボランティア CO2削減 認定量認証 みもポイント

森づくり活動

森づくりボランティアの意義  
 求む！森づくり指導者・参加者  
 森づくり活動等イベント情報

森づくり活動者に対するサポート

ボランティア団体

指導者・補助員の募集

- 森づくり活動
- 木工作業
- 森林作業
- 地域活動/サポーター
- 治山アワード
- その他

支援活動

支援します！  
 森林整備サポーター見  
 支援を希望します！  
 サポーター見

森づくりサポートセンターの概要

森づくりサポートセンターの目的

しまね森づくりサポートセンターは、森づくりへの県民参加を推進するため、森林技術ボランティア活動のサポートを行います。  
 (平成21年、鳥取県林業課での調査によると、県民の49%の人が「森づくりボランティアには興味はあるが、機会がない」と回答されました。)

活動の概要

「森林保全活動をしたい！森林ボランティアをやりたい！でも、一人で活動するのは大変だし、どうしていいかわからない・・・。」  
 「森林は大切だと言われるけど、本を読んだだけではわからない。まずは、森林に足を踏み入れて、森とふれあってみたい。」  
 「自然観察、木工クラフト、公園緑地から植林、間伐・・・など、やりたいけど誰かノウハウを教えてください。」  
 「森林の手入れをしたいけどフィールドがない。」  
 「手入れをしたい森林があるけど自分ではできない。」  
 「森林整備するのに道具がたりない、持っていない。」  
 そうした皆様の声に応えるため、  
 森づくり活動に対して、支援が必要な団体等と、技術支援などができる団体・個人等をマッチングし、森づくりの機会を創出いたします。  
 また、支援活動等に関する情報の発信を行います。

1.ホームページ

しまね森林活動サポートセンター  
 森づくりボランティア / 鳥取CO2削減・認定量認証  
 事務局：一般社団法人鳥取県森林協会  
 〒690-0086 鳥取県松江市長町55番地 林業会館2F  
 TEL:0852-21-2669 / FAX:0852-21-2231

# 伐倒現場(大田市森林組合)視察地・位置図

